

福祉学習成果を披露

開陽高生、高齢者と交流

福祉についての学習成果を披露するなど、お年寄りと地域のグループが交流した。

ふれあい会食は、校区社会福祉協議会が呼

鹿児島市上福元町の西谷山福祉館で17日、お年寄りを招いたふれあい会食があった。近くに

ある開陽高校福祉科生徒たちが、高齢者

び掛け、年1回開催。レクリエーションなどで親睦を深める。

開陽高から訪れたのは、8月にあった体験発表会で全国最高の文部科学大臣賞を受賞した山下美子さん(17)ら中間年次(2年)11

人。山下さんの作文発表のほか、歌に合わせたストレッチ体操や手話の振り付け披露などがあった。お年寄りも拍子をとったり、一緒に手足を動かしたりした。

涙が出そうなくらい楽しかった」と感激した様子。山下さんは「お年寄りに興味を持ってもらえるように、皆で工夫した。拍手や笑顔がうれしかった」と話した。

(小手川美子)



手話を交えた振り付けなどで交流する開陽高校生とお年寄り

—鹿児島市上福元町の西谷山福祉館

町内に住む野添ヒサエさん(88)は「歌や踊りがよく考えてあって感心した。若い人と交流する機会が少なく、